

社会資本総合整備計画(第2回変更)

唐戸地区周辺における賑わいの創出

山口県 下関市

平成27年12月

社会資本総合整備計画

平成 年 月 日

計画の名称	唐戸地区周辺における賑わいの創出		
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)		交付対象 下関市
計画の目標			

唐戸周辺地区は、旧赤間関市の中心市街地として経済活性を有し、市役所や商店街、業務の中核として、また路線バスや高速バス、タクシーが発着、往來する交通ターミナルとしての位置づけを有している。しかしながら、近年における高齢化の進展や経済情勢の低迷に伴い当該地区における中心市街地や商店街の空きビル・空きテナントの増加や建築物の老朽化に伴う防災性の低下が懸念されている。また、隣接する商業施設には観光客等が多く訪れていている状況にあるが、本地区の商店街に向かう乗継客等は少なく、回遊させるためのしきかけづくりが課題となっている。このことから、民間活力を誘導した再開発事業等による都市機能の更新や魅力ある都市空間としての再整備を行ったため、地区有利者の合意形成を図り、周辺商業施設より既存商店街へ観光客等を誘導し、本地区にぎわいの創出を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・周辺商業施設から既存商店街への回遊率（歩行者等通行量（休日））の増加。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考 (当初現況値の説明)			
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)				
周辺商業施設から既存商店街への回遊率（歩行者等通行量（休日））を増加させる。	17%	—	22%	下関市中心市街地活性化基本計画における目標値と現況値（平均値）による割合			
全体事業費	合計 (A+B+C)	17.0 百万円	A 14.0 百万円	B 百万円	C 3.0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	17.65%

交付対象事業

A1 基幹事業

B 関連社会資本整備事業

番号 一體的に実施することにより期待される効果

備考

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
1-C-1	施設整備	一般	下関市	直接	下関市	花と緑の商店街づくりプロジェクト	商店街を季節感あふれる花通りとするための支援事業	下関市						3.0	
合計														2.0	

番号 一貫的に実施することにより期待される効果

備考

既存商店街を花と緑に用ひられた空間として整備することにより商店街の魅力が高まり、商店街に訪れる観光客等が増加することで、再開発事業の実施に向けての機運が高まる。

(参考図面)

